



センター企画講演会 **男女で学ぶ～豊かな老後～** 6月29日(月)

講師: 炭谷 靖子先生(富山福祉短期大学看護学科学科長・教授)

“人はどこで死を迎えるのが幸せ?” 6割以上の方が自宅を希望しておられますが、現実には8割が病院等で、自宅は2割。
自宅で療養を続けるには、かかりつけ医、訪問看護、介護支援専門員、地域包括支援センター、民生委員の方々のサポートを受け、一人ではなくみんなで語り合える環境を作っていく事が大切だと改めて感じました。
高岡市内にも各地に訪問看護ステーションがあります。介護、医療、予防という専門的なサービスを受けながら、誰もが安心して老後を過ごせるようになればと思います。(富岡 ルミ)

平成27年度 **女と男のパートナー会議** 7月4日(土)

高岡市ふれあい福祉センター1階 多目的ホール

講演会「みんなの“生と活”づくりからはじまる! はじめる! “やさしい社会”」

講師 富山国際大学 子ども育成学部 教授 村上 満氏

地域からの“最新の男女共同参画社会形成の情報発信”を目的とした「女と男のパートナー会議」を、高岡市ふれあい福祉センターで開催しました。
主催者となる県の担当者から男女共同参画推進についての説明後、推進員経験者の会・アプローチさんによる寸劇「女子高生の会話より～デートDV編」が上演されました。女子高生に扮した演者が、現代社会に潜む問題点を、女子高生同士が繰り広げる会話を通して表現するもので、時間をかけて綿密に構成された寸劇から、何が問題かを容易に理解できる内容でした。
つづいて、富山国際大学教授 村上満氏による「男女を取り巻くあん・ぼん・たん問題のない高岡に向けて」を副題とした講演の中では、日々の生活の中で、自分の考えや慣習といった「枠」にとらわれてしまいがちだが、いろんな意見を聴く「耳」を持つことで、新しい仕組みを共に作り上げることが大事と語っておられ、参加者は熱心に耳を傾けていました。(指崎 一匡)



第4回定例会 **七夕飾り作成** 7月16日(木)

昨年に引き続き、認定子ども園 かたかご幼稚園・かたかご保育園 保育士の清水先生を招いて、可愛い織姫様と彦星様の七夕飾りを制作しました。紙コップと色紙、画用紙などを部品として加工し、それぞれを組み合わせて顔を描けば完成。どれも個性的で素敵な作品に仕上がりました。
出来上がった七夕飾りは、7月26日に高岡七夕まつりの「My七夕」に飾り付け。猛暑の中、推進員と家族の皆さんの願い事が書かれた短冊と一緒に、願いが成就するように心を込めて一つひとつ取り付けました。(松本 光司)



編集後記

我が家の3兄妹の末っ子が来春、小学校に入学するにあたりランドセルを購入することになりました。
最近は購入時期が早まり、もう何人かの年長さんは持っている様子。「男は黒、女は赤」という価値観は昔の話。いろんな色がありすぎて本人も決められない様子。「自分の意見を持つことが大事」なので、しっかりと自分で決めてもらおうと思う。けど、決まらないかな(笑)
(谷内 英哉)

広報部員

副会長 指崎 一匡
部長 松本 光司
谷内 英哉
富岡 ルミ



家持くん 利長くん



平等・開発・平和

第19号 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

地域における男女平等・共同参画意識の浸透を

高岡市 男女平等・共同参画課 課長 広羽 昌子



高岡市では、「男女平等推進条例」、「男女平等推進プラン」、「DV対策基本計画」等に基づき、男女が性別に関わりなく、あらゆる分野に自らの意志で参画し、喜びも責任も分かち合う男女平等・共同参画社会の実現を目指し、女性の参画促進やワーク・ライフ・バランスの推進、DVの防止等に取り組んでおります。
男女平等・共同参画社会の実現を目指すうえで、キーポイントとなるのが、住民にとって身近な暮らしや仕事の場である地域における取組みです。地域の男女平等・共同参画の推進は、地域の活性化を促し、その魅力を高めるだけでなく、地域が抱える課題解決にも資すると言われています。
こうしたことから、地域に根差した取組みがますます重要となってくるわけですが、地域の実情に応じて柔軟に進めていくためには、地域活動の担い手であり、地域での実践の核として位置付けられている富山県男女共同参画推進員の皆さんのご協力が何よりも必要となります。
昨年一年間、県主催の研修会やミニ学習会に参加され、男女平等・共同参画について学ばれ気づかれたことを、今年はそれぞれの地域で開催されるミニ地区懇談会などを通して地域や家庭等で広め、実践していただければと思っています。
今年度、すでに2地区でミニ地区懇談会が開催されていますが、市でもこの取組みをととても大切なものとして捉え、職員が出向いて「推進プラン」や「DV基本計画」、「ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定制度」など、市の施策や重点的に取り組む事業等について説明させていただいております。
他方で、市民の方から「男女平等・共同参画社会という言葉は聞いたことはあるけれど、具体的に何をしているのかよく分からない」とか、「難しく取付きにくい」などといったご意見もお聞きます。
できるだけ多くの方に「ああ、こういうことだったのか」と気づいていただけるよう、そして、徐々にでも確実に、地域において男女平等・共同参画への意識が浸透していくよう期待を込め、ミニ地区懇談会以外にも、男女平等推進センター等が開催する講座・セミナーへの参加促進、地域や企業への出前講座の実施など意識啓発に取り組んでいきたいと考えています。

この広報紙は高岡市のホームページからご覧いただけます。

ほっとホット高岡 > 暮らし > 男女平等・共同参画 > 富山県男女共同参画推進員高岡連絡会

<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gender/kurashi/kyodosankaku/renrakukai/index.html>



ミニ地区懇談会開催中！

水津校区

講師 ▶▶ 中村 千佳子氏 木津・福田・佐野・二塚地域包括支援センター 管理者・主任
演題 ▶▶ 安心して暮らせる地域の仕組みづくり ～地域包括ケアシステムの構築に向けて～



地域包括センターの主任であり、実際の介護の現場で看護師をしていらっしゃる中村さんを招いて、高岡市が計画を進めている地域包括ケアシステムの構築に向けての講演をしていただきました。

平成 29 年から介護保険制度が大きく改正されます。少子高齢化が進む現代において、介護は誰か一人の問題ではなくて地域社会全体の問題としてとらえ、老若男女みんなで支えあい、誰もが安心して楽しく暮らせる地域づくりをみんなで考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

当日は 50 人以上の参加者で会場がいっぱいになり、住民のみなさんの関心の高さをうかがえました。

(永井 安都子)



戸出東部・戸出西部校区

内容 ▶▶ 男性料理教室
指導 ▶▶ そば打ち愛好会ボランティア団体

戸出地区では今回男性限定で料理教室を行いました。料理の内容はそば打ち体験と、きのこ餃子を作りました。参加者は若いお父さんから年配の方まで幅広く集まりました。普段、料理といえばどうしてもお母さんが作るのが当たり前というイメージがあります。今回参加した男性も普段はほとんど料理をしない方ばかりで、中には料理を一度もしたことがないという方もいました。

しかし、実際にやってみると皆さん夢中でそば打ちをやっておられました。また、お子さんを連れてこられた方は親子で楽しんでおられました。

これをきっかけに男性にも料理に興味を持っていいただければ嬉しく思います。(野原隆志)



平成27年度 ミニ地区懇談会開催スケジュール

各地区で懇談会を開催中です。多数の方々の参加をお待ちしています。(9月1日現在)

福 岡	中 田	戸 出 西 部	戸 出 東 部	西 広 谷	石 堤	千 鳥 丘	東 五 位	牧 野	国 吉	古 府	太 田	伏 木	野 村	二 塚	下 関	万 葉	能 町	成 美	木 津	南 条	博 労	西 条	川 原	横 田	平 米	定 塚	校下名
未定	未定	7月26日(日)	未定	10月22日(木)	未定	未定	未定	未定	未定	11月13日(金)	未定	11月27日(金)	未定	未定	未定	未定	未定	未定	6月25日(木)	未定	未定	11月25日(水)	未定	未定	未定	未定	開催予定日

民間支援基金パサパは皆様の支えて成り立っています！



DV被害者が、自立の一步を踏み出すための一時支援金を無利子で貸出します

DV(ドメスティック・バイオレンス)問題は社会認知もされ、徐々に支援の輪も広がっています。しかし未だ被害の相談件数は増加しており、子どもへの影響も深刻な問題になっています。パサパは、誰もが安心して暮らせる、何事も暴力で解決しない社会を願って活動します。

賛同するみなさんの会費・寄付で運営しています。あなたのサポートをお願いいたします。

〈会費・寄付振込先〉

ゆうちょ銀行〇七九店(079)当座預金口座番号 0057876

口座名 サポート基金パサパ

問合せ先: 080-6358-0838

パサパって？

フランス語で、
「一歩一歩」という意味です。



第 1 回定例会 高岡市男女平等推進センター 4月16日(木)

平成 27 年度総会終了後、笠島社会保険労務士事務所 笠島所長を講師に招き「知らない間にしてるかもハラスメント」と題した講演会を行いました。

職場での「パワハラを予防し、明るい職場にするには？」を明確に説明していただきました。

過去 3 年間にパワハラを受けたことのある企業の従業員は 25.3%で、労災補償を受けるケースも増加傾向にあるとのこと。パワハラを未然に防ぐ予防策として「①トップからメッセージを発信する ②ルールを決める ③実態を把握する ④教育する ⑤周知する」といった取り組みが有効で、起こった問題に対する解決策としては「①相談や解決の場を設置する ②再発を防止する」といった対策が必要だそうです。

もし気づかずにパワハラを行っていたとすれば、誰にとっても切実な問題となりますが、大切なことは“常に相手の気持ちを考えた言動を心がける”ことだと、今回の講演を聞いて実感しました。(谷内 英哉)

第 2 回定例会 おいはら餅店工場見学 5月9日(土)



職場部会が主催する今回の定例会は、いつものウイングウイングを出ておいはら餅店さんのお仕事を見学してきました。

時間の都合上大きな作業は終わっていましたが、参加してくれた推進員さんとお子さんたちは、家庭では使わない調理器具などに感心したり、驚いたりしながら楽しんでいました。

おいはらさんのお仕事は、繊細な作業とともに重い材料の運搬など多岐にわたっているのがわかり、おいしいお菓子の理由を知りました。(高木 法子)

第 3 回定例会 アプローチさんによる家庭の役割の寸劇とグループディスカッション 高岡市男女平等推進センター 6月18日(木)



皆さんは「ジェンダー」という言葉をご存知ですか？日本語では「社会的性別差別」と言いますが、もっと簡単に言うと「女は(男は)こうあるべき」という意味です。

私も幼少の頃、両親から「もっと男らしくなりなさい」とよく言われたものです。

今回、地域・家庭部会の担当による定例会で、推進員経験者の会アプローチさんによる、普段の生活の中でついつい口にしてしまう「ジェンダー」を実際のお茶の間を舞台として、家庭内における男女の役割について富山弁を駆使して演じて下さいました。

また寸劇終了後は、各グループに分かれて家庭内ジェンダーをどうすれば減らす事が出来るのかを討論しました。普段の家族との会話を、改めて考えるよいきっかけになった会でした。(指崎 一匡)

悩んでいることは ひとりで悩まないでご相談ください

DV(夫や恋人からの暴力)
家庭や職場のトラブルや悩み事など
高岡市男女平等推進センター相談室
TEL 0766-20-1811



平成26年度の
主なデータ
相談件数：2,701 件(延件数)
主な主訴：①DV 1,435 件(53.1%) ②生き方 377件(14.0%)
③精神保健 376 件(13.9%)
年 齢 別：①40代 1,216 件(45.0%) ②30代 626 件(23.2%)

相談時間 9:30～16:30 月・火・水・金・土
14:00～20:00 木

【電話相談】【面接相談】(面接相談は予約が必要です。)

※休館日は、毎月第4月曜日・12月29日から翌年の1月3日です。
(相談業務は毎週日曜日が休みです。)

高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階) ●高岡駅前

相談室より

相談室では一人ひとりの気持ちや考え方を尊重し、相談者自身が自分の力を発揮して問題解決に取り組んでいけるようなサポートを行っています。

電話相談や面接の中で相談員とともに問題を整理しながら、今後の見通しをつけていくための知識や情報も提供しています。